環境委員会資料

1 令和2年第6回定例会提出予定議案の説明

- (1) 議案第166号 川崎市港湾施設条例の一部を改正する条例
の制定について

資料1 川崎市港湾施設条例の一部を改正する条例の制定について

資料2 川崎市港湾施設条例の一部を改正する条例 新旧対照表

港 湾 局

(令和2年11月18日)

川崎市港湾施設条例の一部を改正する条例の制定について

1 条例改正の概要

ふ頭用地使用料の額及びふ頭用地利用料の上限額を改定するもの

2 改正の主な内容

- (1) 電柱 1本1月までごとに
230円～470円 → 280円～580円
- (2) 電話柱 1本1月までごとに
200円～440円 → 250円～550円
- (3) 共架電線 共架柱1本1月までごとに
220円・250円 → 280円・310円
- (4) 地下埋設管 1本1メートルまでごとに
16円～380円 → 20円～480円
- (5) 架空管 1月1メートルまでごとに
180円・450円 → 230円・560円

3 施行期日

令和3年4月1日から施行

4 改正理由

前回の改定（平成29年4月1日施行）後におけるふ頭用地使用料及びふ頭用地利用料の算定基礎となっている固定資産税評価額の変動を考慮し、道路占用料に準拠し改定する。

5 増収見込額

約3,100万円

改正後				改正前			
○川崎市港湾施設条例 昭和22年11月26日条例第33号 別表第1（第13条、第13条の2関係） ふ頭用地使用料又はふ頭用地利用料				○川崎市港湾施設条例 昭和22年11月26日条例第33号 別表第1（第13条、第13条の2関係） ふ頭用地使用料又はふ頭用地利用料			
種別		使用料又は利用料金		種別		使用料又は利用料金	
		単位	金額			単位	金額
電柱	第1種電柱	1本1月までごとに	280円	電柱	第1種電柱	1本1月までごとに	230円
	第2種電柱		430円		第2種電柱		350円
	第3種電柱		580円		第3種電柱		470円
電話柱	第1種電話柱	1本1月までごとに	250円	電話柱	第1種電話柱	1本1月までごとに	200円
	第2種電話柱		400円		第2種電話柱		320円
	第3種電話柱		550円		第3種電話柱		440円
その他の柱類		1本1月までごとに	25円	その他の柱類		1本1月までごとに	20円
共架電線	電柱に共架する場合	共架柱1本1月までごとに	280円	共架電線	電柱に共架する場合	共架柱1本1月までごとに	220円
	電話柱に共架する場合		310円		電話柱に共架する場合		250円
公衆電話所		1個1月までごとに	500円	公衆電話所		1個1月までごとに	400円
郵便差出箱及び信書便差出箱		1個1月までごとに	210円	郵便差出箱及び信書便差出箱		1個1月までごとに	170円
送電塔		1月1平方メートルまでごとに	500円	送電塔		1月1平方メートルまでごとに	400円
特別高圧架空送電線		1月1メー	9円	特別高圧架空送電線		1月1メー	7円

改正後				改正前					
			トルまでご とに				トルまでご とに		
地下 埋設 物	埋設管そ の他これ に類する もの	外径0.07メートル未満の もの	1月1メー トルまでご とに	<u>20円</u>	地下 埋設 物	埋設管そ の他これ に類する もの	外径0.07メートル未満の もの	1月1メー トルまでご とに	<u>16円</u>
		外径0.07メートル以上0.1 メートル未満のもの		<u>28円</u>			外径0.07メートル以上0.1 メートル未満のもの		<u>22円</u>
		外径0.1メートル以上0.15 メートル未満のもの		<u>42円</u>			外径0.1メートル以上0.15 メートル未満のもの		<u>34円</u>
		外径0.15メートル以上0.2 メートル未満のもの		<u>56円</u>			外径0.15メートル以上0.2 メートル未満のもの		<u>45円</u>
		外径0.2メートル以上0.3 メートル未満のもの		<u>85円</u>			外径0.2メートル以上0.3 メートル未満のもの		<u>67円</u>
		外径0.3メートル以上0.4 メートル未満のもの		<u>110円</u>			外径0.3メートル以上0.4 メートル未満のもの		<u>90円</u>
		外径0.4メートル以上0.7 メートル未満のもの		<u>140円</u>			外径0.4メートル以上0.7 メートル未満のもの		<u>110円</u>
		外径0.7メートル以上1メ ートル未満のもの		<u>230円</u>			外径0.7メートル以上1メ ートル未満のもの		<u>180円</u>
	外径1メートル以上のも の		<u>480円</u>		外径1メートル以上のも の		<u>380円</u>		
	その他のもの	1月1平方 メートルま でごとに	<u>480円</u>		その他のもの	1月1平方 メートルま でごとに	<u>380円</u>		
架空 工作 物	架空管そ の他これ に類する もの	外径0.4メートル未満のも の	1月1メー トルまでご とに	<u>230円</u>	架空 工作 物	架空管そ の他これ に類する もの	外径0.4メートル未満のも の	1月1メー トルまでご とに	<u>180円</u>
		外径0.4メートル以上のも の		<u>560円</u>			外径0.4メートル以上のも の		<u>450円</u>

改正後				改正前			
	支持物	1月1平方メートルまでごとに	560円		支持物	1月1平方メートルまでごとに	450円
	その他のもの		560円		その他のもの		450円
	鉄道事業法（昭和61年法律第92号）による鉄道及び用地横断工作物	1月1平方メートルまでごとに	500円		鉄道事業法（昭和61年法律第92号）による鉄道及び用地横断工作物	1月1平方メートルまでごとに	400円
	広告塔及び看板類	1月1平方メートルまでごとに	890円		広告塔及び看板類	1月1平方メートルまでごとに	760円
	工事のための一時作業所又は工所用材料置場	1月1平方メートルまでごとに	170円		工事のための一時作業所又は工所用材料置場	1月1平方メートルまでごとに	170円
	港湾貨物の一時置場	1月1平方メートルまでごとに	120円		港湾貨物の一時置場	1月1平方メートルまでごとに	120円
	事務所及びその附帯施設	1月1平方メートルまでごとに	290円		事務所及びその附帯施設	1月1平方メートルまでごとに	290円
	その他のもの	前各項類似の項目に準じて市長が定める。			その他のもの	前各項類似の項目に準じて市長が定める。	

備考

- 第1種電柱とは、電柱（当該電柱に設置される変圧器を含む。以下同じ。）のうち3条以下の電線（当該電柱を設置する者が設置するものに限る。以下この項において同じ。）を支持するものを、第2種電柱とは、電柱のうち4条又は5条の電線を支持するものを、第3種電柱とは、電柱のうち6条以上の電線を支持するものをいう。
- 第1種電話柱とは、電話柱（電話柱その他の通信又は放送の用に供する電線を支持する柱をいい、電柱であるものを除く。以下同じ。）

備考

- 第1種電柱とは、電柱（当該電柱に設置される変圧器を含む。以下同じ。）のうち3条以下の電線（当該電柱を設置する者が設置するものに限る。以下この項において同じ。）を支持するものを、第2種電柱とは、電柱のうち4条又は5条の電線を支持するものを、第3種電柱とは、電柱のうち6条以上の電線を支持するものをいう。
- 第1種電話柱とは、電話柱（電話柱その他の通信又は放送の用に供する電線を支持する柱をいい、電柱であるものを除く。以下同じ。）

改正後	改正前
<p>のうち3条以下の電線（当該電話柱を設置する者が設置するものに限る。以下この項において同じ。）を支持するものを、第2種電話柱とは、電話柱のうち4条又は5条の電線を支持するものを、第3種電話柱とは、電話柱のうち6条以上の電線を支持するものをいう。</p> <p>3 共架電線とは、電柱又は電話柱を設置する者以外の者が当該電柱又は電話柱に設置する電線をいう。</p> <p>4 共架柱とは、共架電線を支持する電柱又は電話柱をいう。</p> <p>5 広告塔及び看板類の表示面積が利用の面積より大きいときは、表示面積をもって利用の面積とする。</p>	<p>のうち3条以下の電線（当該電話柱を設置する者が設置するものに限る。以下この項において同じ。）を支持するものを、第2種電話柱とは、電話柱のうち4条又は5条の電線を支持するものを、第3種電話柱とは、電話柱のうち6条以上の電線を支持するものをいう。</p> <p>3 共架電線とは、電柱又は電話柱を設置する者以外の者が当該電柱又は電話柱に設置する電線をいう。</p> <p>4 共架柱とは、共架電線を支持する電柱又は電話柱をいう。</p> <p>5 広告塔及び看板類の表示面積が利用の面積より大きいときは、表示面積をもって利用の面積とする。</p>